

様式 3

平成 29 年度 第 1 回学校関係者評価報告書

鳥取県立八頭高等学校
 学校長 橋本 代里子

評 価 日	平成 29 年 7 月 5 日 (水)		
委 員	氏 名	資格・所属等	委員長
	大原 洋二	八頭高校元校長	○
	林 尚子	八頭高校 P T A 副会長	
	永原 直子	八頭町立八東小学校長	
	橋本 浩之	八頭町立八頭中学校長	
	石川 真澄	公立鳥取環境大学経営学部准教授	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等	
1. 前年度の最終評価について ・「八頭高愛し愛され運動」等の地域連携・地域貢献活動を高く評価したい。(閉校式、開校式で大変お世話になった。) ・普通科進学校として進学実績を上げてほしい。		・4年目になる「八頭高愛し愛され運動」をさらに発展させる予定である。 ・補習、勉強合宿、サテライン等のさまざまな方策によって、進学実績を向上させたい。 ・探究ゼミ(探究コース)、「夢ナビライブ」参加(全コース)、各種講習会(体育コース)等によって、特色づくりに努めている。 ・昨年度後期から生徒保健委員会がスマホ調査を行い、年度当初より全生徒に手帳「フォーサイト」を持たせ、時間を自己管理する指導を行っている。即効性はないが、学習時間の伸びに期待したい。 ・手法が先行し「主体的・対話的」ではあっても「深い学び」になっていない傾向があった。今年度はアクティブ・ラーニングの「検証」を掲げている。 ・生徒数は減少したが(11クラス→7クラス)、国公立大学の募集人数は減っておらず、大きなチャンスと捉えている。 ・共通テストについては積極的に情報収集を図っている。食育については、P T A 活動の一環として学校保健委員会に提案したい。地元就職を多くの生徒が望んでおり、就職先確保を行政等をお願いしたい。	
2. 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・コースの特色づくりは、どのように行っているか。			
3. 今年度の評価計画について (1) 目標設定について ・自宅学習時間の確保によって学力向上を図ってほしい。			
(2) 目標達成のための取組について ・アクティブ・ラーニングについて、どのような取組を行っているか。			
(3) 評価基準及び評価指標について ・進学実績として、かつてのように80名以上を目標とすべきではないか。			
4. 学校運営や予算に関する提言 ・共通テスト対策、食育の取組を推し進めるとともに、県外へ進学しても地元で就職する人材を育成してほしい。			